

1・2年生 大学模擬授業

7月7日

1・2年生は、12名の大学の先生方をお招きし、大学模擬授業を受けました。最初の10分で、大学や学部の紹介をしていただき、少し難しい専門的なお話を60分していただきました。直接大学の先生のお話を聴いて、大学の学びを具体的にイメージすることができました。1年生は11月の文理選択の決定に向け、2年生は11月の第一志望校の決定に向け、本日の大学模擬授業を参考に、自らの進路を深く考えて欲しいと思います。また、大学進学をこれまでよりイメージできた分、日々の授業の大切さを実感することができました。担当いただきました先生方、ありがとうございました。

模擬授業の様子

広島大学工学部 助教 水田 丞 先生

「広島県の歴史的建造物」



「建築史」を学ぶ意義は先人の建造物からより良い建築物の創造に役立つものだと知りました。重要な学問だということを理解しました。

広島大学生物生産学部 教授 鈴木 卓弥 先生

「日本人の食生活と骨の健康」

骨の役割には、「体の支柱」「運動には必須」「脳・内臓の保護」「血液をつくる」「カルシウムの貯蔵」など、骨の役割を詳しく知ることができました。また、骨と食べ物との関わりについて多くのことを学ぶことができました。



広島大学文学部 助教 奥村 真理子 先生

「サン=テグジュペリの『星の王子さま』」



「大切なことは目に見えない」
普段、目に見えることで私たちは判断することが多いが、本当はそれが全てではないことを納得できました。いつかフランス語のままの「星の王子さま」を読んでみたいと思いました。

県立広島大学経営情報学部 教授 市村 匠 先生 「広島県観光情報スマートフォンアプリ」



ツイッターなどのSNSでの情報を整理・拡散することで隠れた観光資源を発見でき地域活性化のツールとなることを学びました。

県立広島大学保健福祉学部 教授 岡田 淳子 先生 「感染予防の基礎知識」

抵抗力の下がった入院患者にとって、感染症は命にかかわることであり、特に身近で接する看護師の感染予防の重要性を理解することができました。



広島市立大学国際学部 教授 佐藤 深雪 先生 「日本研究 夏目漱石と20世紀」



文学を読むことから、当時の大衆の問題点が見えてくることになりました。これからは、文学作品とそのような観点で読みようと思います。

広島市立大学情報科学部 准教授 末松 伸朗 先生 「情報科学超入門」

数値で表せないようなことでも式を用い、相手が自分のことを好きかどうかなど、数値で求めることができることを知り、とても驚きました。



山口大学工学部 教授 中村 秀明 先生



「情報化社会の過去、現在、未来」

人工知能の発達で、アプリを用いて様々なことができることを知りました。また、人間がしている仕事が、ロボットに奪われ減少していることも理解できました。6割以上の方が大学院へ進学することなど、参考になりました。

岡山大学教育学部 教授 青木 多寿子

岡山大学の魅力が十分伝わってきました。心理学がどのように活用されるのかが分かりました。教員は子供と関わる上で、子供の心理を理解することが重要だと感じました。自分の進路を考えるよい機会になりました。

「教育心理学講座」



山口大学経済学部 教授 兵藤 隆 先生



「お金の話」

経済学は、単にお金儲けの話ではなく、自分たちが幸せに生活できる社会のしくみをつくるためのものだと知りました。社会の様々な問題に目を向けることが必要だと感じました。

安田女子短期大学保育科 教授 柿岡 玲子 先生

保育園、幼稚園、認定こども園の違いがよく分かりました。保育園にいる方が、家庭にいる時間より長いので、とても責任のある仕事だと知りました。

「保育内容総論・保育入門」



九州大学芸術工学部 助教 秋田 直繁 先生

「日常品のデザイン」



「デザインする」ということは、ただものをデザインして作るだけではなく、周りの環境に広く視点を置いて、ユーザーの使いやすさなどを考慮することが重要だと分かりました。

「自分の夢や目標を見つけ、将来何を学びたいかを考えよう！」
がんばれ美高生！！